

第 32 回東美濃肉牛共進会が開催されました

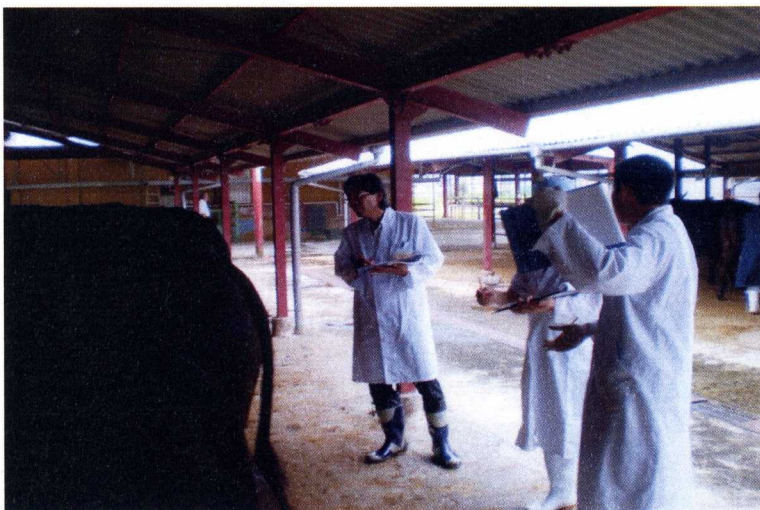
中津川市畜産振興会主催の第 32 回東美濃肉牛共進会が関市田原の JA 全農関家畜流通センターで開催されました。

この共進会は、昭和 54 年より毎年開催されており、肥育牛の仕上がり状態を比較検討することにより、飼養管理技術、特に肥育技術の一層の向上と肥育農家経営の発展・振興を図る目的で開催されています。

審査は、審査委員長を JA 全農岐阜県本部畜産部長に、岐阜県東濃家畜保健衛生所長、JA 全農岐阜県本部畜産販売課長、岐阜県恵那農林事務所農業振興課長を審査員とし、慎重に審査されました。

中津川市内各地より肉牛の雌 13 頭、去勢 42 頭の計 55 頭が出品され、第 1 部雌牛の部では中津川市付知町の横山眞直さん飼養の体重 763kg 肉牛が優等賞に、また第 2 部では中津川市加子母中島元喜さん飼養の体重 823kg の肉牛が優等賞 1 席に選ばれました。また各部の優等賞の中から、第 2 部（去勢の部）の優等賞 1 席の中島さん所有の肉牛がグランドチャンピオンに選ばれました。

審査を行った審査員からは、東美濃地域の肉牛の特徴として発育が良好で、体積、フレームが十分出来上がっているものの、肉付きがバラバラであるので、肥育の最終時期の食い込ませ方、ミネラル、ビタミンの給与に十分気をつけ、飛節のはれなど毎日の観察が重要との講評がありました。



一次審査の様子



二次審査（集合審査）の様子



第2部の優等賞1席でGC牛（中島さん、左）と
第1部の優等賞牛（横山さん、右）